

川の日に名古屋市立守山西中学校で防災講座

川の日である7月7日(木)、名古屋市立守山西中学校で1年生約280名に防災講座を行いました。この中学校での防災講座は、昨年に引き続き2回目となります。

この地域は、矢田川と庄内川に挟まれた地域で、過去から水害に悩まされており、平成12年の東海豪雨でも大きな被害を受けています。

講座は、1クラスを対面式、その他のクラスはライブ配信で行いました。

東海豪雨を始め、過去に発生した水害について学習した後、浸水疑似体験映像・避難動画「あつ森で大切な命を守る」の視聴、「大雨にソナエルピクト」を活用した防災クイズで、避難や事前の備えについて学びました。

「ハザードマップは知っていますか？」との質問では、「知ってるけど、自分の家が浸水するかどうかは解らない」生徒が多く、子供たちへの啓発の必要性が感じられました。

「水害を経験したことが無いので、水害の怖さが解った」「家族で話し合いたい」「早く避難したい」などの感想があり、これからの大雨への備えに繋がったのではないかと思います。

今回の防災講座が生徒の防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

